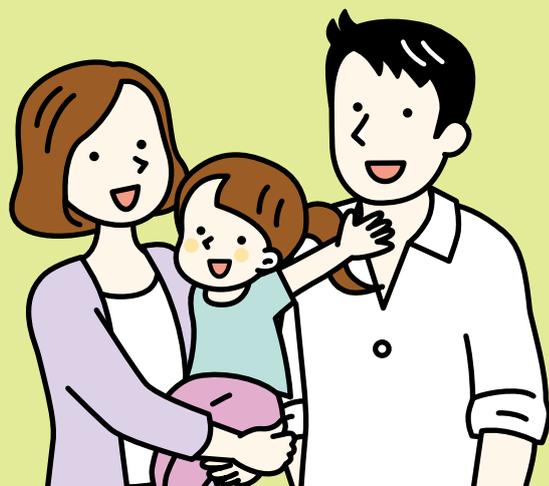


第4次

いしかわ 食育 推進計画

概要版

令和4年度～令和8年度

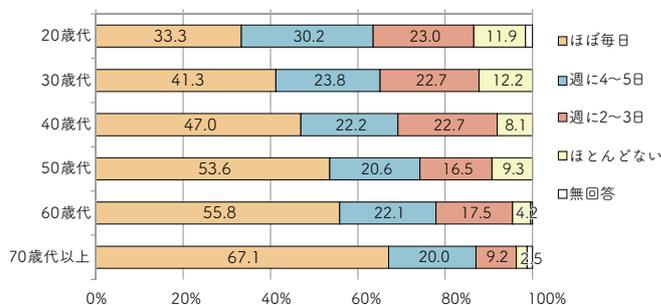


令和4年3月
石川県

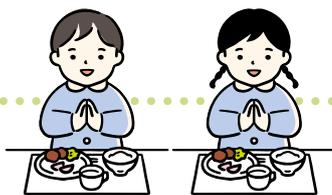
1 食をめぐる現状

- 食育に関心のある人の割合は、目標の90%以上に達していない状況です。
- 朝食欠食率や栄養バランスの良くない人の割合は、20代が最も高い状況です(図)。
- 生活習慣病の予防や改善のために気をつけた食生活をしている人の割合は約8割です。
一方で、男女ともに、1日当たりの食塩摂取量は目標量を超え、野菜摂取量は目標量に達していない状況です。
- 郷土料理や伝統的な料理を食べている人の割合は、7割を超えています。
- 食品ロスを減らすために取り組んでいる人の割合は、8割を超えています。
- 新型コロナウイルス感染症の流行前に比べ、家族と食事を食べる回数が増えた人の割合は15%です。

図 主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上する頻度



出典：石川県「食育に関する県民意識調査」(令和2年度)



2 目指す姿

県民一人ひとりが生涯にわたって食を考える習慣を身につけ、食を大切に
する心を持ち、心身ともに健康で、豊かな人間性を育むことができること

3 重点課題

子どもの基本的な生活習慣の形成

子どもの健やかな成長のためには、バランスの良い食事が大切です。

早寝・早起き・朝ごはん等の望ましい生活習慣を身につけることができるよう、子どもの頃からの食育を推進します。

石川の食文化の継承につながる食育の推進

地元の農林水産物を使用した伝統的な郷土料理や、日常の食事のマナー等の普及と次世代への継承のため、多様な広報媒体を通じた情報提供や、地域のボランティア等による食育を推進します。

若い世代に対する食育の推進

これから親になる世代でもあるため、食に関する望ましい食習慣が定着できるよう、若い世代の関心を切口とした効果的な取り組みを行い、食に関する意識を高め、身に付けた知識を実践につなげられるよう推進します。

健康寿命の延伸につながる食育の推進

県民一人ひとりが、生涯にわたり食を通じ健全な食生活を実践できるよう、健康増進施策と連携した食育を推進します。



食品ロス削減の推進

行政、事業者、消費者等の様々な関係者が連携し、食品の製造から消費に至るまでの一連の工程について、食品ロス削減の推進に努めます。

デジタル技術を活用した食育の推進

生活を支える多くの分野で、デジタル技術の進展・普及が加速しています。食育に関する様々な取り組みに対しても、デジタル技術を活用し効果的に食育を推進します。

4 施策体系

【目的1】未来を担う子どもの健全な身体を培い、豊かな心を育む

< 施策の方向性 >

< 具体的な取り組み内容 >

(1) 家庭における食育の推進

家庭において、子どもとその保護者が食に対する関心と理解を深め、望ましい生活習慣を身に付ける取り組みを推進します。

重点

- ① 妊娠前からはじめる妊産婦の食育の推進
- ② 食を楽しむ力(知る・育てる・選ぶ・調理する・食べる)の育成
- ③ 子どもの基本的な生活習慣の形成

(2) 保育所、認定こども園、幼稚園、学校等における食育の推進

保育所や学校等において、望ましい食習慣の定着と豊かな食体験の積み重ねを、家庭や地域と連携し計画的に進めます。

- ④ 体験型食育の推進
- ⑤ 地域交流型食育の推進
- ⑥ 給食を通じた食に関する理解促進



【目的2】地域の食を次世代に伝え、地域社会の活性化を図る

(3) 石川の伝統的な食文化の継承

石川県の郷土料理や食材等を活用した食育を推進し、伝統ある優れた食文化を継承します。

重点

- ⑦ 石川の食文化の継承につながる食育の推進
- ⑧ 給食での郷土料理等の積極的な導入
- ⑨ 食文化に関する情報の収集と発信

(4) 消費者と生産者等との交流を通じた地産地消の推進

農林漁業体験や生産者との交流等を通じて、消費者の農林漁業や地場産物への関心と理解を深め、地産地消を推進します。

- ⑩ 子どもを中心とした農林漁業体験活動の促進
- ⑪ 消費者と生産者の交流の促進
- ⑫ 食品関連事業者等による地産地消の促進
- ⑬ 地場産物や環境に配慮した農業に関する情報提供と利用促進

【目的3】県民一人ひとりが、健全な食生活を実践する力を身につける

(5) 個人が取り組む食育の推進

県民一人ひとりが、生涯にわたり健全な食生活を実践することにより、健康づくりや生活習慣病等の発症・重症化予防を推進します。

重点

- ⑭ 若い世代に対する食育の推進
- ⑮ 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- ⑯ 高齢者に対する食育の推進

(6) 食育を支える地域環境づくり

ボランティアを含めた関係者間の連携・協力を図り、デジタル技術を活用しながら、県民を挙げて食育を推進する環境を整備します。

重点

- ⑰ ボランティア等の育成・活動の推進
- ⑱ 各種団体等の連携・協力体制の推進
- ⑲ 食育の推進に関する情報提供
- ⑳ 職場における食育の推進

重点

- ㉑ 食品ロス削減の推進
- ㉒ 多様な暮らしに対応した食育の推進
- ㉓ デジタル技術を活用した食育の推進



5 重点的に取り組む内容

㊦は現状値、㊧は目標値

子どもの基本的な生活習慣の形成

主な取り組み

- 小学生とその保護者が食育を学び、児童が目標に取り組む「食育チャレンジ事業」の実施
- 未就学児の保護者向けの子どもの食に関する冊子を作成・配布
- 「早寝・早起き・朝ごはん」推進運動

目標

- ◆朝食を欠食する県民を減らす
朝食を欠食する子どもの割合 ㊦4.6% (R1年度) → ㊧0% (R7年度)

石川の食文化の継承につながる食育の推進

主な取り組み

- 地域で、各種団体が自ら実施する「地域版食育推進計画」の普及・認定・表彰
- 給食を通じて、地域の食文化や郷土料理、食材などの理解を促進

目標

- ◆地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理を食べている県民を増やす
地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理を食べている県民の割合 ㊦73.0% (R2年度) → ㊧80%以上 (R7年度)



若い世代に対する食育の推進

主な取り組み

- 大学生・短期大学生による高校生への食育授業の実施
- 若い世代の関心事を切り口とした食に関する情報発信

目標

- ◆栄養バランスに配慮した食生活を実践する県民を増やす
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 ㊦37.9% (R2年度) → ㊧55%以上 (R7年度)
- ◆朝食を欠食する県民を減らす
朝食を欠食する若い世代の割合 ㊦12.4% (R2年度) → ㊧8%以下 (R7年度)

健康寿命の延伸につながる食育の推進

主な取り組み

- カロリー・塩分控えめで、野菜たっぷりの「いしかわヘルシー & デリシヤスメニュー」を普及
- ライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりを推進

目標

- ◆ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する県民を増やす
ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけている県民の割合 ㊦77.7% (R2年度) → ㊧85%以上 (R7年度)
- ◆ゆっくりよく噛んで食べる県民を増やす
ゆっくりよく噛んで食べる県民の割合 ㊦52.6% (R1年度) → ㊧増加 (R7年度)

食品ロス削減の推進

主な取り組み

- 食品ロス削減に取り組む飲食店等を「美味しいいしかわ食べきり協力店」として登録
- 食品の製造過程において発生する規格外品を販売する「もったいない市」の開催
- 「いしかわ版環境ISO」への参加促進による食品ロスの削減

目標

- ◆食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民を増やす
食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合 ㊦86.2% (R2年度) → ㊧増加 (R7年度)



デジタル技術を活用した食育の推進

主な取り組み

- 高校生向けのデジタル技術を活用した食育媒体の作成
- 食育に関する情報の一元化と発信

石川県健康福祉部少子化対策監室

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地
TEL 076-225-1424 FAX 076-225-1423

「第4次いしかわ食育推進計画」の全文は
県のホームページからご覧いただけます。

いしかわ食育推進計画

